

平成 2 7 年 9 月 1 7 日

山口県教育委員会会議議案

山口県教育委員会

議案

番号	件名	主管課
1	平成27年度山口県一般会計補正予算（第2号）についての意見の申出について（報告承認）	教育政策課
2	物品の買入れについての意見の申出について（報告承認）	教育政策課
3	山口県教育委員会表彰規則による表彰について（報告承認）	教育政策課
4	平成27年度山口県教育委員会の点検・評価報告について	教育政策課
5	第79回山口県文化財保護審議会に対する諮問について	社会教育・文化財課

議案第 1 号

平成 27 年度山口県一般会計補正予算（第 2 号）に
ついての意見の申出について（報告承認）

このことについて、別紙のとおり知事に意見を申し出たので、報告して承認を求めます。

平成 27 年（2015 年）9 月 17 日

山口県教育委員会

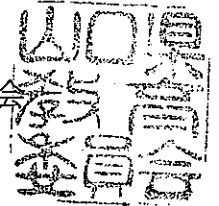
教育長 浅原 司

平 2 7 教 政 第 5 4 6 号

平成 2 7 年 (2015年) 9 月 9 日

山口県知事 村岡 嗣政 様

山口県教育委員会



平成 2 7 年 9 月 山口県議会定例会に提出予定の議案に関する
意見の申出について (回答)

平成 2 7 年 9 月 8 日 付け、平 2 7 財 政 第 8 6 号 で 意 見 を 求 め ら れ た 下 記 の 議 案 に つ い て は、
異 存 あ り ま せ ン。

記

- 1 平成 2 7 年 度 山 口 県 一 般 会 計 補 正 予 算 (第 2 号)
- 2 物 品 の 買 入 れ に つ い て

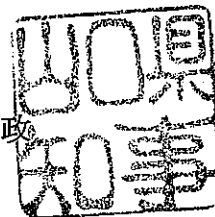
平 2 7 財 政 第 8 6 号

平成 2 7 年 (2015年) 9 月 8 日

山口県教育委員会

教育長 浅原 司 様

山口県知事 村岡 嗣政



平成 2 7 年 9 月 山口県議会定例会に提出予定の議案に関する
意見について

平成 2 7 年 9 月 山口県議会定例会に提出予定の下記の議案について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 3 1 年法律第 1 6 2 号）第 2 9 条の規定に基づき、貴委員会の意見を伺います。

記

1 平成 2 7 年度山口県一般会計補正予算（第 2 号）

2 物品の買入れについて

平成27年度山口県一般会計補正予算（第2号）

■歳出予算の補正

教育委員会

(単位：千円)

款・項・目・事項名	現計予算額	9月補正額	9月補正額の財源内訳				9月補正後の額
			国支出金	地方債	その他	一般財源	
款) 教育費	134,336,103	49,523			49,523		134,385,626
項) 高等学校費	28,948,801	49,523			49,523		28,998,324
目) 学校建設費	4,066,277	49,523			49,523		4,115,800
事項) 施設改造費	105,573	49,523			49,523		155,096
款) 災害復旧費	60,000						60,000
教育委員会合計	134,396,103	49,523			49,523		134,445,626

9 月補正予算（案）の概要

岩国基地に係る交付金関連事業

1 趣旨

岩国・大島地域の県立高校について、基地交付金を活用することにより、普通教室及び会議室への空調設備の整備を実施し、学校教育環境の向上を図る。

2 補正内容等

(1) 事業概要

現在、普通教室等への冷房が未整備である岩国高校坂上分校、岩国高校広瀬分校、岩国総合高校の 3 校に空調設備を整備する。

(2) 見積額

(単位:千円)

学 校 名	整 備 内 容	事 業 費	備 考
岩国高校坂上分校	普通教室 6、会議室 1	23,156	
岩国高校広瀬分校	普通教室 6、会議室 1	24,660	
岩国総合高校	普通教室 14、会議室 1	1,707	※設計のみ
計		49,523	

※岩国総合高校の工事については、H28 年度実施予定。

3 事業スケジュール

学 校 名	平成 27 年度		平成 28 年度	
	10 月	3 月	4 月	9 月
岩国高校坂上分校	工 事			
岩国高校広瀬分校	工 事			
岩国総合高校	設 計		工 事	

議案第 2 号

物品の買入れについての意見の申出について（報告承認）

このことについて、別紙のとおり知事に意見を申し出たので、報告して承認を求めます。

平成 27 年（2015 年）9 月 17 日

山口県教育委員会

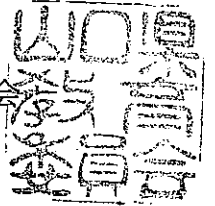
教育長 浅原 司

平 2 7 教 政 第 5 4 6 号

平成 2 7 年 (2015年) 9 月 9 日

山口県知事 村岡 嗣政 様

山口県教育委員会



平成 2 7 年 9 月 山口県議会定例会に提出予定の議案に関する
意見の申出について (回答)

平成 2 7 年 9 月 8 日付け、平 2 7 財 政 第 8 6 号で意見を求められた下記の議案については、
異存ありません。

記

- 1 平成 2 7 年度山口県一般会計補正予算 (第 2 号)
- 2 物品の買入れについて

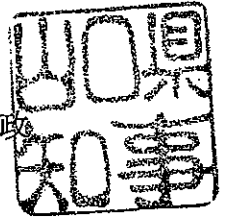
平 2 7 財 政 第 8 6 号

平成 2 7 年 (2015年) 9 月 8 日

山口県教育委員会

教育長 浅原 司 様

山口県知事 村岡 嗣政



平成 2 7 年 9 月山口県議会定例会に提出予定の議案に関する
意見について

平成 2 7 年 9 月山口県議会定例会に提出予定の下記の議案について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 3 1 年法律第 1 6 2 号）第 2 9 条の規定に基づき、貴委員会の意見を伺います。

記

- 1 平成 2 7 年度山口県一般会計補正予算（第 2 号）
- 2 物品の買入れについて

物品の買入れについて

1 物品の概要

(1) 名称

県立学校コンピュータ教室用機器 1式

(2) 機器構成

県立学校コンピュータ教室用機器	デスクトップ型パソコン	544台
	ファイルサーバ	40台

(3) パソコンの主な仕様

県立学校コンピュータ教室用機器	CPU	3.6GHz以上
	メモリ	4GB以上
	ハードディスク	500GB以上

(4) ソフトウェア

オペレーティングシステム (OS)、ビデオ編集ソフト、言語処理ソフト、教育支援ソフト 等

(5) 予定価格

94,021,617円

2 整備場所

県立学校コンピュータ教室用機器 20校

柳井高校、田布施農工高校、光高校、光丘高校、新南陽高校、徳山商工高校、防府商工高校、山口高校徳佐分校、宇部商業高校、美祢青嶺高校、下関工業高校、大津緑洋高校日置校舎、高森みどり中学校、岩国総合支援学校、田布施総合支援学校、周南総合支援学校、徳山総合支援学校、山口総合支援学校、山口総合支援学校みほり分校、下関総合支援学校

3 契約の方法

平成27年8月18日一般競争入札を行った結果、金81,432,000円(消費税及び地方消費税含む)をもって落札されたため、買入契約を行うもの。

4 売払人の状況

(1) 売 払 人 富士ゼロックス山口株式会社 営業統括部
営業統括部長 牟田賢二

(2) 事務所の所在地 山口市小郡黄金町4番1号

5 納 期 限 平成27年12月25日

6 入札参加業者及び入札金額

富士ゼロックス山口株式会社	75,400,000円
西日本電信電話株式会社	79,333,000円
山口視聴覚機器株式会社	80,000,000円

議案第3号

山口県教育委員会表彰規則による表彰について（報告承認）

山口県教育委員会表彰規則（昭和61年山口県教育委員会規則第6号）第2条の規定に基づき、平成27年度教育功労者を次のとおり決定したので報告し、承認を求めます。

平成27年(2015年)9月17日

山口県教育委員会

教育長 浅原 司

永年精勤の部（表彰規則第2条第6号）

所属名	職名	氏名	勤務年数	備考
山口市立鴻南中学校	教諭	織田 雅生	20年	平成27年8月17日 死亡退職
山口県立下関南総合 支援学校	主任 寄宿舍 指導員	加藤 由紀代	36年	平成27年8月31日 早期退職
下関商業高等学校	教頭	大谷 敏	31年	平成27年9月14日 死亡退職

議案第 4 号

山口県教育委員会の権限に属する事務の点検・評価について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条第 1 項の規定に基づき、平成 26 年度の山口県教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、別紙「平成 27 年度山口県教育委員会の点検・評価報告書」のとおり点検及び評価を行い、これを平成 27 年 9 月定例県議会に提出するとともに、公表する。

平成 27 年（2015 年）9 月 17 日

山口県教育委員会

議案第5号

第79回山口県文化財保護審議会に対する諮問について

このことについて、別紙のとおり諮問する。

平成27年（2015年）9月17日

山口県教育委員会

(別紙)

平 2 7 教社文第 8 7 1 号

平成 2 7 年 9 月 1 7 日

山口県文化財保護審議会会長 様

山口県教育委員会

文化財の県指定について

山口県文化財保護条例（昭和 4 0 年山口県条例第 1 0 号）第 4 条第 3 項の規定に基づき、下記の文化財を山口県指定有形文化財に指定することについて貴会の意見を問います。

記

有形文化財（彫刻）：木造四天王像

『木造四天王像』の概要

- 1 種 別 有形文化財（彫刻）
- 2 名 称 木造四天王像
- 3 概 要 四天王は持国天、増長天、広目天、多聞天の4体からなる。本四天王像は木造（ヒノキ材）、寄木造で、彩色（持国天の身色は緑青、増長天は朱、広目天は白、多聞天は青）される。像高は持国天58.7cm、増長天54.8cm、広目天56.5cm、多聞天57.4cm。二尊院の本尊である木造釈迦如来立像・木造阿弥陀如来立像（いずれも重要文化財）の四隅を守る形で安置されている。室町時代の修理願文から、弘安年間（1278～87）頃の作と考えられる。
- 4 所在の場所 山口県長門市油谷向津具下3539番地
- 5 所 有 者 宗教法人 二尊院
- 6 価 値
- ・ 鎌倉時代に流行した「大仏殿様四天王像」（鎌倉時代初期に造立された東大寺大仏殿の四天王像に類似した像）と体勢・身色・持物などがほぼ一致する本県唯一の例で、当地方と畿内との関係が類推でき、資料的価値が高い。
 - ・ 室町時代の修理願文から、弘安年間の造立であり、本尊の釈迦如来立像・阿弥陀如来立像（文永3～5年（1266～68）の作）と大きく変わらない造立時期であることが判明している。

〔 参 考 〕

○県指定文化財件数

種 別	件数
建造物	34
絵画	28
彫刻	62
工芸品	29
書跡	8
典籍	10
古文書	8
考古資料	25
歴史資料	15
無形文化財	3
民俗文化財	42
記念物	88
計	352

○近年の県指定有形文化財（彫刻）

文化財名	市町	指定年月日
木造地藏菩薩立像	山口市	平成16.4.2
木造獅子狛犬	山口市	平成12.3.31
金銅誕生釈迦仏立像	防府市	平成元.3.28
金銅毘盧舎那仏坐像(寺伝大日如来像)	防府市	平成元.3.28

各像の形状

(持国天)



〈本体〉

単髻。元結紐1条。髻の前に花卉形の飾りを付ける。髪は毛筋彫り。天冠台は無文。瞋目、開口する。歯、舌をあらわす。耳朶板状不貫。筒袖の衣、大袖の衣、鰭袖の衣、袴を着ける。肩甲、襟甲、表甲、胸甲、腰甲、前楯、籠手、脛当て、肩喰（獅子をあらわす）、帯喰（獅子をあらわす）、胸帯、腹帯を着ける。左手は全指を開いて腰に当て、右手は頭の横に振り上げ、全指を曲げて宝剣を執る。右足を踏み上げて邪鬼の頭を踏み、腰を左にひねって立つ。

〈邪鬼〉

頭を向かって右にし、首を曲げ、右前肢は顎にあて、左前肢は伸ばす。両後肢を曲げて、伏臥する。右前指は3本、左前指は4本、左後ろ指は2本か。

〈台座〉

岩座2段。その下に框。

〈光背〉

頭光、輪宝光。3ヶ所に火焰をあらわす。

(増長天)



〈本体〉

天冠台無文、耳の上が角張る。瞋目、開口する。帯喰をあらわさない。腰甲の上縁は雲形にあらわす。胸帯はベルトの形。肩喰（龍をあらわす）を付ける。左手は振り上げて全指を曲げ、宝剣を執る。右手は全指を伸ばして腰に当てる。左足を踏み上げて邪鬼の頭を踏み、腰を右に捻って立つ。その他は持国天にほぼ準じる。

〈邪鬼〉

頭を向かって右にし、右前肢を曲げる。手指は4本、足指は3本。その他はほぼ持国天と左右対称にあらわす。

〈台座〉

持国天分に準じる。

〈光背〉

持国天分に準じる。

(広目天)



〈本体〉

瞋目、閉口する。喰、帶喰をあらわさない。左手は屈臂し、全指を曲げて経巻を執る。右手は腰の前で掌を前向きにし、第3～5指を曲げ、第1、2指はやや曲げ、筆を執る。邪鬼を踏み、腰を左に捻って立つ。その他は持国天にほぼ準じる。

〈邪鬼〉

頭は向かって右にし、両前肢は曲げて岩につき、右後肢は曲げて踵を岩について伏臥する。手指は5本、足指は4本。

〈台座〉

持国天分に準じる。

〈光背〉

持国天分に準じる。

(多聞天)



〈本体〉

肩喰（獅子をあらわす）を付ける。帶喰はあらわさない。左手を屈臂し、全指を曲げて戟を執る。右手は屈臂し、掌を上に向け、全指を伸ばして宝塔を執る。邪鬼を踏み、腰を右に捻って立つ。その他は持国天にほぼ準じる。

〈邪鬼〉

頭を向かって右にし、両前肢を曲げ、右後肢を曲げ、左後肢を蹴り上げて伏臥する。

〈台座〉

持国天分に準じる。

〈光背〉

持国天分に準じる。

報告事項

番号	件 名	主 管 課
1	山口県まち・ひと・しごと創生総合戦略（最終案）について ※別冊資料	教 育 政 策 課
2	平成28年度（2016年度）山口県立学校職員（実習助手・寄宿舍指導員）採用候補者選考試験の実施について	教 職 員 課
3	平成27年度全国学力・学習状況調査結果について	義 務 教 育 課
4	平成27年3月公立高等学校等（全日制・定時制）卒業生進路状況調査結果について	高 校 教 育 課
5	平成26年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題の現状について	学校安全・体育課
6	平成28年度全国高等学校総合体育大会山口県実行委員会第2回総会の開催について	学校安全・体育課

報告事項 2

平成28年度（2016年度）山口県立学校職員（実習助手・ 寄宿舍指導員）採用候補者選考試験の実施について

教 職 員 課

1 選考区分、志願区分、採用見込者数及び職務の概要

職種	選考区分	志願区分	採用見込者数	職務の概要	
実習助手	一般選考	普通教科	2人程度	普通教科の実験又は実習について、教諭の職務を助ける。	
		農業	農芸化学・食品系	1人程度	農業の実験又は実習について、教諭の職務を助ける。
		工業	機械系	2人程度	工業の実験又は実習について、教諭の職務を助ける。
			化学工業系	2人程度	
	身体障害者を対象とした選考	一般選考の志願区分と同じ	1人程度	一般選考の「職務の概要」と同じ	
寄宿舍指導員	/		2人程度	特別支援学校の寄宿舍における児童、生徒の日常生活上の世話及び生活指導（食事、入浴等日常生活全般に関わる指導）に従事する。（夜間勤務有り。）	

2 受験資格

昭和41年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた者
実習助手（農業・工業）については、別に資格要件が必要

3 志願書類等の受付期間

平成27年9月24日（木）から10月7日（水）まで

4 試験の期日・場所

- (1) 期 日 平成27年11月1日（日）
- (2) 場 所 山口県セミナーパーク

5 試験の内容

- (1) 実習助手（普通教科）・寄宿舍指導員
教養試験、小論文、面接、適性検査
- (2) 実習助手（農業・工業）
教養試験、専門教科試験、面接、適性検査

6 採用候補者名簿登載予定者の発表等

- (1) 日 時 平成27年11月26日（木）午前9時
- (2) 内 容 採用候補者名簿登載予定者の受験番号を掲載
- (3) 場 所 山口県庁インフォメーションプラザ
山口県教育委員会の教職員課のホームページ

山口県のめざす目標

元気創出やまぐち！未来開拓チャレンジプラン(～H29)
時代を切り拓く確かな学力の育成
全国トップクラスの学力をめざす取組の充実

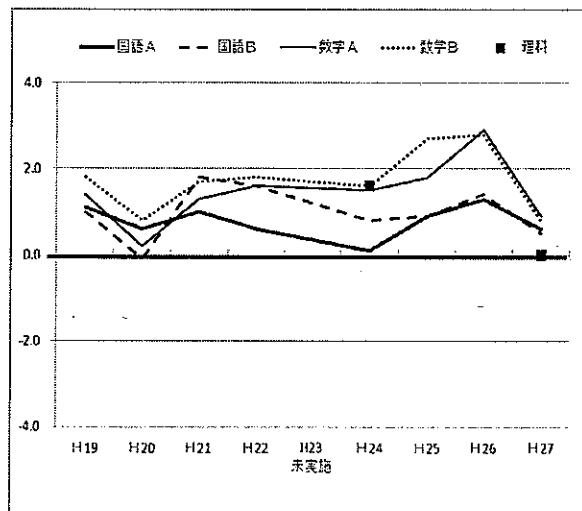
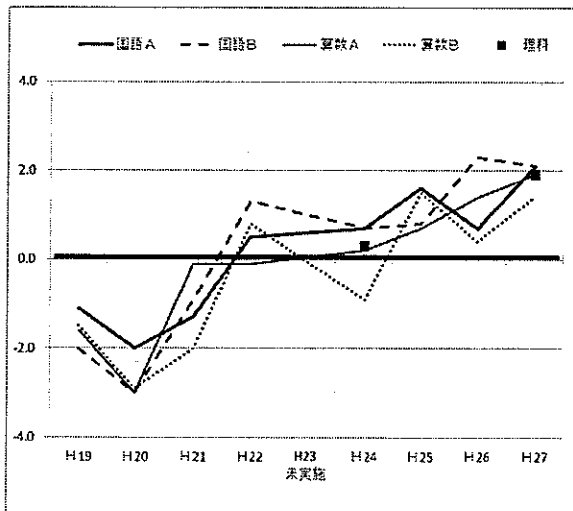
山口県教育振興基本計画(H27.3改定)
 10の緊急・重点プロジェクト
確かな学力育成プロジェクト

推進指標：全国学力・学習状況調査平均正答率

小・中学校全区分で、
全国平均を3ポイント上回る(H29)

子どもたち一人ひとりに全国トップクラスの
学力の定着をめざして

今年度の調査結果をどうとらえるか



すべての子どもたちの学力向上

全県的に安定した学力の定着

今後も学力向上の取組の充実・徹底が必要

調査結果から見られる課題

学力

- 特定の内容に定着が不十分な状況が継続
- 身に付けた知識や技能を活用して思考・判断・表現する力の不足

指導

- 教師の指導の意図と子どもを受け止めのずれ
- 課題の改善に向けた指導力の向上

連携

- 家庭での生活習慣の改善や学習習慣の定着
- 地域と連携した教育活動の一層の充実

やまぐちっ子の学力を育む検証・改善委員会での意見

学校の組織的取組

- 年2回の検証改善サイクルの充実
- 全校体制で取組を共通理解し徹底
- 校内研修を改善・推進するリーダーの養成

学習環境の整備

- 学習の基盤となる教師と子ども、子ども同士の間関係の醸成
- 授業規律の確立等、当たり前前のことの徹底

指導方法の工夫改善

- すべての教科の基礎となる国語力の向上
- 継続する課題に絞り込んだ指導方法の研究
- 一人ひとりの的確な見取りと的確な支援

学習習慣の確立

- 家庭や地域と学校、子どもとのつながり強化
- 家庭学習の工夫等の好事例の積極的な発信

報告事項 4

平成27年3月公立高等学校等(全日制・定時制)卒業生 進路状況調査結果について(概要)

※ 公立高等学校及び中等教育学校後期課程についての調査

- 「大学等進学者」および「就職者」の割合が増加。「専修学校等進学者」は減少。
- 「その他」の割合は低い状態を維持しており、進路決定率は高い。

卒業生数	8,248人 (前年度比78人減少)
------	--------------------

大学等進学者

- 全卒業生のうち「大学等進学者」の割合は45.0%
(前年度より1.1ポイント増加)・・・【第1表】
 - ・ 大学等進学者のうち「国公立大学への進学者」の割合は87.8%
(前年度より1.8ポイント増加)・・・【第2表】
 - ・ 大学等進学者のうち進学者数が最も増加した「教育学部系統」の割合は10.7%
(前年度より0.7ポイント増加)・・・【第3表】
 - ・ 大学等進学者のうち「県内大学への進学者」の割合は26.4%
(前年度より0.9ポイント増加)・・・【第4表】

専修学校等進(入)学者

- 全卒業生のうち「専修学校等進(入)学者」の割合は22.6%
(前年度より2.5ポイント減少)・・・【第1表】
 - ・ 専修学校等進(入)学者のうち最も多い「医療系統」の割合は27.3%
(前年度より1.3ポイント増加)・・・【第6表】
 - ・ 予備校入学者数は減少
508人(H26.3) → 466人(H27.3)・・・【第6表】

就職者

- 全卒業生のうち「就職者」の割合は29.8%
(前年度より1.8ポイント増加)・・・【第1表】
 - ・ 就職者のうち最も多い「製造・加工従事者」の割合は33.7%
(前年度より1.8ポイント増加)・・・【第7表】
 - ・ 就職者のうち最も多い「工業科卒業生」の割合は49.0%
(前年度より1.8ポイント減少)・・・【第8表】

その他

[一時的な仕事に就いた者、家事手伝いをしている者等]

- 全卒業生のうち「その他」の割合は2.0%
(前年度より0.4ポイント減少)・・・【第1表】

平成27年3月県立特別支援学校高等部卒業生 進路状況調査結果について(概要)

○「就職者」の割合が過去5年間において最高。

卒業生数 280人 (前年度比38人増加。過去5年間において最高)

大学等進学者

- 全卒業生のうち「大学等進学者」の割合は5.4%
(前年度より1.3ポイント増加)・・・【第1表】
 - ・ 大学等進学者のうち「国公立大学への進学者」数は3名
(前年度より1名増加)
 - ・ 大学等進学者のうち「職業能力開発校への進学者」数は8名
(前年度より4名増加)
 - ・ 大学等進学者のうち「専門学校への進学者」数は2名
(前年度と同数)

就職者

- 全卒業生のうち「就職者」の割合は30.0%
(前年度より0.7ポイント増加)・・・【第1表】
 - ・ 就職者のうち最も多い「サービス職業従事者」の割合は58.3%・・・【第3表】
 - ・ 就職者のうち「生産工程・労務作業(製造・制作作業)」の割合は19.0%
・・・【第3表】

福祉施設利用者

- 全卒業生のうち「福祉施設利用者」の割合は59.2%
(前年度より2.4ポイント減少)・・・【第1表】
 - ・ 福祉施設利用者のうち「就労系サービス事業所(就労移行支援事業所・就労継続支援事業所B型)利用者」数は90名。福祉施設利用全体の半数以上を占める。
・・・【第4表】
 - ・ 福祉施設利用者のうち「生活介護利用者」数は、59名・・・【第4表】

その他

[在宅者]

- 全卒業生のうち「在宅者」の割合は5.4%
(前年度より0.4ポイント増加)・・・【第1表】

報告事項5

平成26年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題の現状について(概要)

1 要 旨

文部科学省が全国における標記調査の結果を取りまとめたところであり、当該結果における山口県の状況について公表する。

2 調査対象

国・公・私立の小・中・高等学校、中等教育学校、特別支援学校

3 山口県公立学校における生徒指導上の諸問題の現状

1 暴力行為の発生件数 (公立小・中・高・中等)	546件(前年度588件) ※ 7.1%減少 [発生率 4.1件(前年度4.3件) ※ 0.2ポイント減少]
2 小・中学校の不登校児童生徒数 (公立小・中・中等前期課程)	1,082人(前年度1,098人) ※ 1.5%減少 [出現率 10.1人(前年度10.1人) ※ 増減なし]
3 高等学校の不登校生徒数 (公立高校・中等後期課程)	111人(前年度122人) ※ 9.0%減少 [出現率 4.4人(前年度4.8人) ※0.4ポイント減少]
4 高等学校の中途退学者数 (公立高校・中等後期課程)	152人(前年度187人) ※ 18.7%減少 [中退率 0.58%(前年度0.70%) ※ 0.12%減少]

※ 暴力行為の発生率、不登校の出現率については、児童生徒1,000人当たりの数。

※ 中等教育学校前期課程は中学校に、後期課程は高等学校に含める。

※ いじめについては、現在再調査中であるため、文科省にあわせ後日公表する。

平成26年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題の現状について（公立学校）

(1) 暴力行為（小・中・高等学校及び中等教育学校）

資料1

() 内は前年度との比較

区分	山口県		全国	
	発生件数	発生率(件)	発生件数	発生率(件)
公立	546(▲42)	4.1	50,927(▲4,402)	4.2
国公私合計	601(▲22)	4.1	54,242(▲5,103)	4.0

※ 発生率は、児童生徒1,000人当たりの発生件数

ア 本県の状況

(ア) 公立学校における暴力行為の発生件数は、546件（小学校87件、中学校416件、高等学校43件）で、前年度より42件減少し、暴力行為発生率は全国数値を下回った。

(イ) 暴力行為が発生した公立学校は、全学校の30.7%（小学校11.2%、中学校63.8%、高校45.2%）であり、前年度と比べ1.3ポイント減少している。

(ウ) 10件以上発生した学校は、中学校12校（全中学校の7.4%）であり、この12校（181件）で中学校の全暴力行為の43.5%を占める。〔小・高等学校は0校〕

(エ) 形態別は、「生徒間暴力」が320件（小学校40件、中学校250件、高等学校30件）で最も多く、「対教師暴力」131件、「器物損壊」83件、「対人暴力」12件と続く。

(オ) 学年別加害児童生徒数をみると、中学2年生が173人（30.4%）、次に中学3年生が137人（24.1%）、中学1年生が123人（21.6%）と続き、中学生が全体の76.1%を占めている。〔小学生90人（15.8%）、高等学校46人（8.1%）〕

(2) 不登校

資料2

ア 本県の小・中学校及び中等教育学校前期課程の状況

() 内は前年度との比較

区分	山口県		全国		
	不登校児童生徒数	出現率(人)	不登校児童生徒数	出現率(人)	
小	公立	238(+29)	3.4	25,646(+1,664)	4.0
	国公私小計	238(+27)	3.3	25,866(+1,691)	3.9
中	公立	844(▲45)	23.1	93,143(+1,341)	28.8
	国公私小計	864(▲45)	22.5	97,036(+1,594)	27.6
計	公立	1,082(▲16)	10.1	118,789(+3,005)	12.2
	国公私合計	1,102(▲18)	10.1	122,902(+3,285)	12.1

※ 出現率は、児童生徒1,000人当たりの不登校児童生徒数

(ア) 公立小・中学校において年30日以上欠席した不登校児童生徒数は、1,082人で、前年度より16人減少しており、児童生徒1,000人当たりの出現率は10.1人と全国的にも低い水準である。

(イ) 校種別では、小学校238人で前年度より29人増加、中学校844人で45人減少した。出現率は、小学校3.4人、中学校23.1人であり、全国平均（小学校4.0人、中学校28.8人）を下回っている。

(ウ) 学年別不登校児童生徒数をみると、小学校6年生の85人から中学1年生が205人、中学2年生が334人と段階的に大幅な増加が見られ、中学校の不登校児童生徒数の割合は全体の76.6%を占める。

(エ) 不登校児童生徒の在籍する学校の割合は、小学校37.0%、中学校68.7%である。

(オ) 指導の結果、年度内に登校できるようになった児童生徒は、小学校26.9%、中学校27.1%である。(小・中合わせて27.1%の児童生徒が復帰)

(カ) 小学校の不登校となったきっかけと考えられる状況(複数選択)は、「本人に係る状況」(無気力、不安など情緒的混乱等)が92.4%と最も多く、「家庭に係る状況」(親子関係、生活環境の急激な変化等)が42.9%、「学校に係る状況」(友人関係、入転学・進級時の不応等)が31.9%である。

(キ) 中学校の不登校となったきっかけと考えられる状況(複数選択)は、「本人に係る状況」(無気力、不安など情緒的混乱等)が79.0%と最も多く、「学校に係る状況」(友人関係、入転学・進級時の不応等)が34.1%、「家庭に係る状況」(親子関係、生活環境の急激な変化等)が19.0%である。

イ 本県の高等学校及び中等教育学校後期課程の状況 ()内は前年度との比較

区分	山口県		全国	
	不登校生徒数	出現率(人)	不登校生徒数	出現率(人)
公立	111(▲11)	4.4	41,555(▲1,626)	18.1
国公私合計	298(+47)	8.4	53,154(▲2,501)	15.9

※ 出現率は、生徒1,000人当たりの不登校生徒数

(ア) 公立高等学校における不登校生徒数は111人であり、前年度より11人減少した。

(イ) 生徒1,000人当たりの出現率は4.4人であり、全国的にも低い水準である。

(ウ) 不登校となったきっかけと考えられる状況(複数選択)は、「本人に係る状況」(無気力、不安など情緒的混乱等)が77.5%と最も多く、「学校に係る状況」(友人関係、入転学・進級時の不応等)が42.3%、「家庭に係る状況」(親子関係、生活環境の急激な変化等)が16.2%である。

(3) 中途退学(高等学校及び中等教育学校後期課程)

資料3

()内は前年度との比較

区分	山口県		全国	
	中途退学者数	中途退学率(%)	中途退学者数	中途退学率(%)
公立	152(▲35)	0.6	33,994(▲4,427)	1.4
国公私合計	410(▲104)	1.1	53,403(▲6,520)	1.5

ア 本県の状況

(ア) 公立高等学校の中途退学者数は152人であり、前年度より35人減少した。

(イ) 中途退学率は0.6%であり、全国的にも低い水準である。

(ウ) 中途退学の理由としては、「進路変更」が32.2%で最も多く、次に「学校生活・学業不応」が20.4%、「その他の理由」が12.5%となっている。

(4) 生徒指導上の諸問題の解決に向けた主な取組

ア 心の教育の基盤となる開発的生徒指導の推進

- ・ 児童生徒の夢や希望を育むキャリア教育・進路指導の充実
- ・ 児童生徒の心の成長を支援する「心をひらき、心をみがき、心をつたえあう」教育の一層の推進
- ・ A F P Y等の体験活動を活用したコミュニケーション能力の向上等による望ましい人間関係づくりの推進
- ・ 生徒指導の充実による生活規律や学習規律等の徹底
- ・ 高等学校における、生徒の多様なニーズに対応した特色ある学校づくりの推進
- ・ 中学生を対象とした高等学校の体験入学等実施による学校理解の推進

- イ 問題行動や不登校等の未然防止に向けた組織的な取組の充実
 - ・ 小中高の異校種間連携による、児童生徒理解に基づいた早期の支援及び継続性のある生徒指導・教育相談の推進
 - ・ 学校適応感調査「Fit」（小・中・高校生版）の積極的活用による児童生徒理解及び支援の促進
 - ・ 「心をつなぐ1・2・3運動」等による、欠席者に関する早期の情報共有・組織的支援の一層の充実
 - ・ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置等による専門家を活用した生徒指導・教育相談体制の一層の充実・強化
 - ・ 市町教委と連携した、加配教員の配置による学校への支援
 - ・ 高等学校中途退学に至った場合の指導資料「新しい進路に向けて」を活用した学び直しや就労へ向けた支援

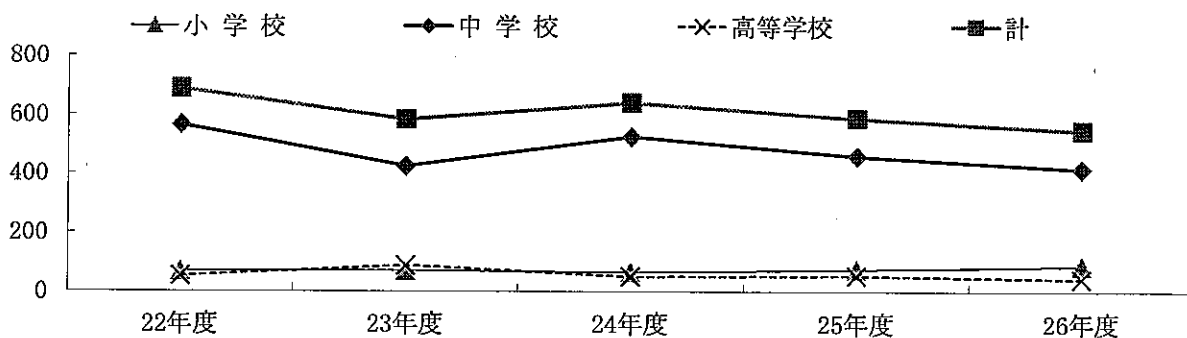
- ウ 学校・家庭・地域が連携した体制づくり
 - ・ 学校と保護者の緊密な連携による、組織的で適切・丁寧な指導・支援
 - ・ コミュニティ・スクールや地域協育ネットの機能を活用し、学校・家庭・地域が一体となった、子どもたちの学びと育ちを見守り支援する体制づくりの推進
 - ・ 警察、児童相談所等の関係機関や少年安全サポーター等専門家との緊密な連携による、課題を抱える児童生徒への立ち直り支援

暴力行為の状況 (H26山口県)

(文部科学省：「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」から)

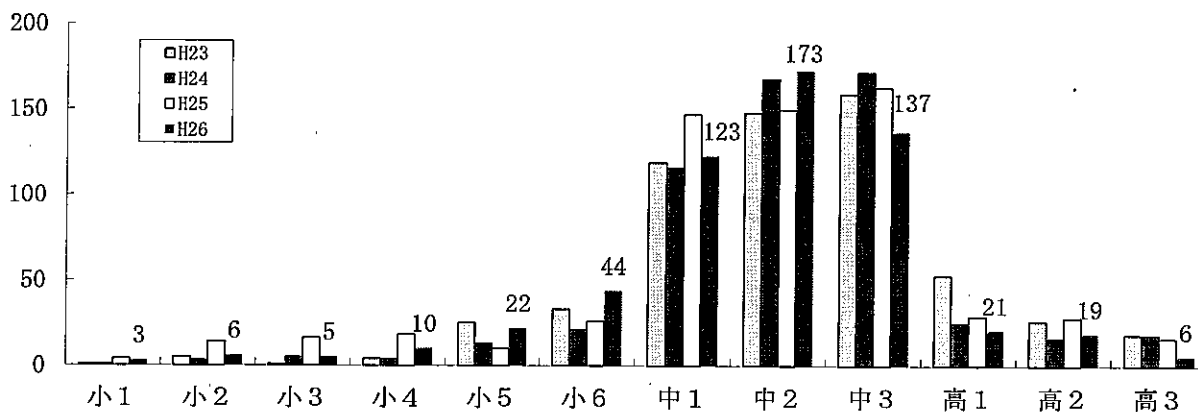
暴力行為の定義「自校の児童生徒が、故意に有形力（目に見える物理的な力）を加える行為」

<発生件数の推移>

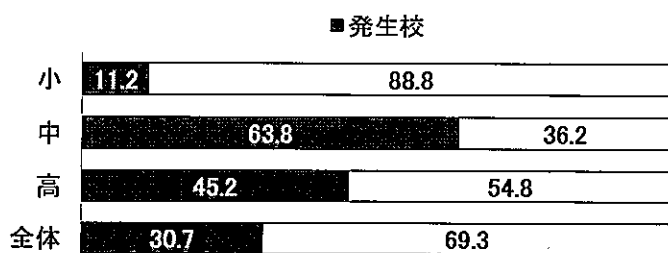


区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
小学校	69	71	65	75	87
中学校	566	425	525	459	416
高等学校	53	88	50	54	43
計	688	584	640	588	546

<学年別加害児童生徒数>



<発生校の比率>



<暴力行為の内訳(件数)>

	対教師	生徒間	対人	器物	計
小	29(+5)	40(Δ4)	2(±0)	16(+11)	87(+12)
中	94(+11)	250(Δ27)	9(Δ4)	63(Δ23)	416(Δ43)
高	8(+2)	30(Δ10)	1(Δ1)	4(Δ2)	43(Δ11)
計	131(+18)	320(Δ41)	12(Δ5)	83(Δ14)	546(Δ42)

<全国との比較>

()内は前年度との比較

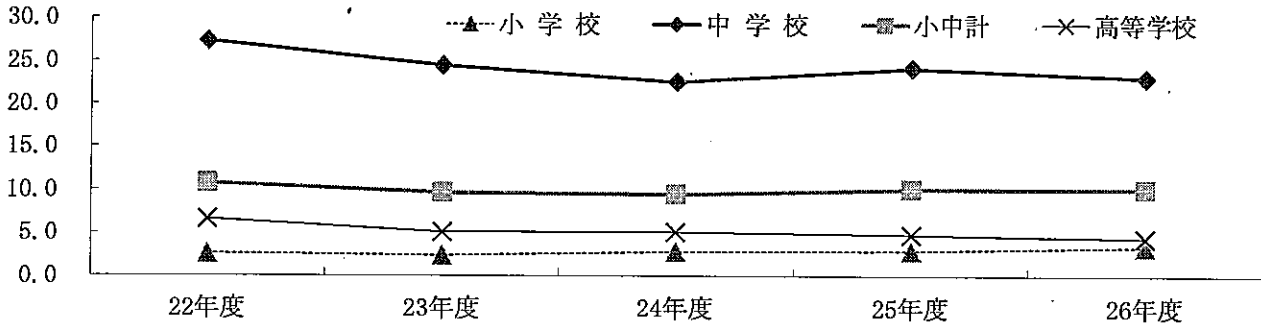
区分	山口県		全国	
	発生件数	発生率(件)	発生件数	発生率(件)
公立	546(▲42)	4.1(▲0.2)	50,927(▲4,402)	4.2(▲0.3)

不登校の状況 (H26山口県)

(文部科学省：「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」から)

不登校の定義「年度間に30日以上欠席した児童生徒のうち、何らかの心理的、情緒的、身体的、或いは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しない或いはしたくともできない状況にあるもの(病気や経済的な理由によるものを除く)」

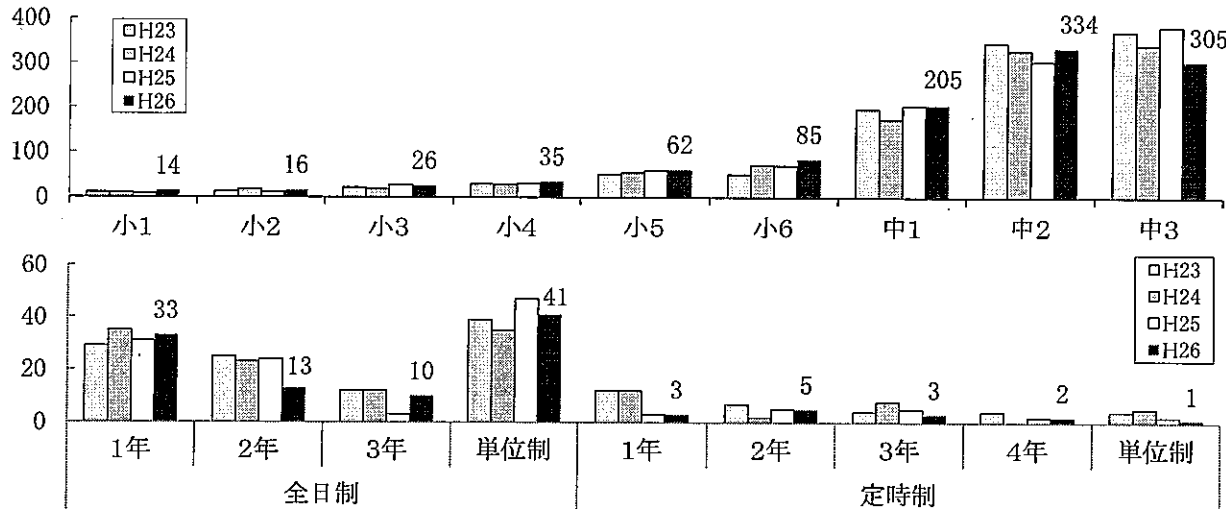
<不登校児童生徒割合の推移(1,000人当たりの不登校児童生徒数)>



区分	小学校			中学校			合計		
	(A) 全児童数	(B) 不登校児童数	B/A×1000	(A) 全生徒数	(B) 不登校生徒数	B/A×1000	(A) 児童生徒数	(B) 不登校生徒数	B/A×1000
	(人)	児童数(人)	人	(人)	生徒数(人)	人	(人)	生徒数(人)	人
22年度	76,220	201	2.6人	37,817	1,034	27.3人	114,037	1,235	10.8人
23年度	74,858	178	2.4人	37,221	912	24.5人	112,079	1,090	9.7人
24年度	73,032	203	2.8人	37,246	842	22.6人	110,278	1,045	9.5人
25年度	71,759	209	2.9人	36,767	889	24.2人	108,526	1,098	10.1人
26年度	70,358	238	3.4人	36,546	844	23.1人	106,904	1,082	10.1人

区分	高等学校		
	(A) 全生徒数	(B) 不登校生徒数	B/A×1000
	(人)	生徒数(人)	人
22年度	26,938	178	6.6人
23年度	26,472	136	5.1人
24年度	26,021	132	5.1人
25年度	25,352	122	4.8人
26年度	25,081	111	4.4人

<学年別等不登校児童生徒数(上段：小中学校、下段：高等学校)>



<不登校児童生徒の指導結果状況>

区分	小学校	中学校	計(小中)	高等学校				計(高)
				全日制	(うち単位制)	定時制	(うち単位制)	
指導の結果登校する又はできるようになった児童生徒	64	229	293	35	(20)	5	(0)	40
指導中の児童生徒	174	615	789	62	(21)	9	(1)	71
うち登校には至らないものの好ましい変化がみられるようになった児童生徒	34	219	253	6	(3)	1	(0)	7
計	238	844	1,082	97	(41)	14	(1)	111
年度内復帰率	26.9%	27.1%	27.1%	36.1%	48.8%	35.7%	0.0%	36.0%
※下段：全国(H26)平均	33.2%	31.0%	31.5%	35.8%	29.4%	29.9%	27.1%	32.0%

<全国との比較>

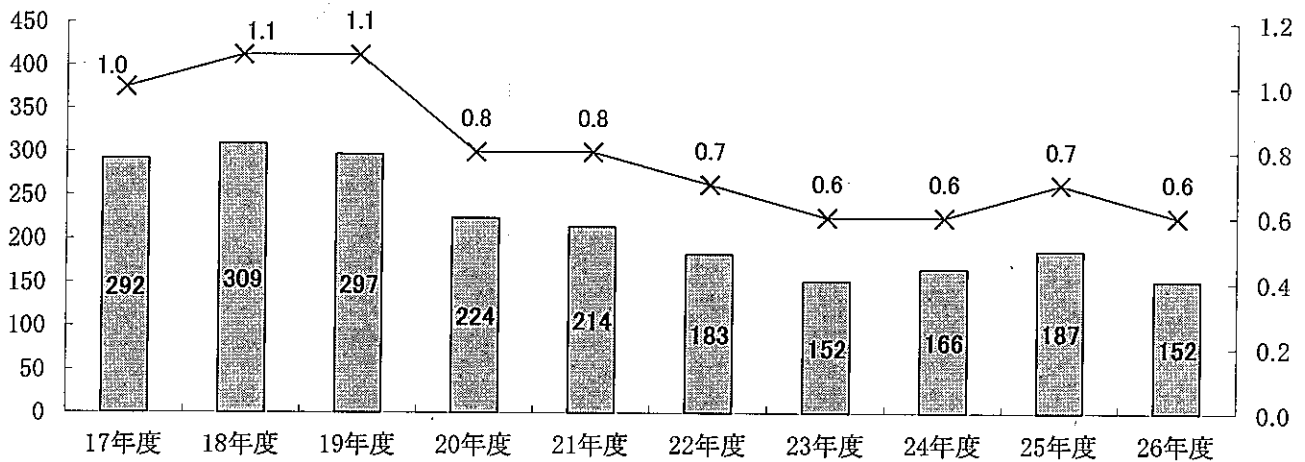
()内は前年度との比較

区分	山口県		全国	
	不登校児童生徒数	出現率(人)	不登校児童生徒数	出現率(人)
公立小	238(+29)	3.4(+0.5)	25,646(+1,664)	4.0(+0.3)
公立中	844(▲45)	23.1(▲1.1)	93,143(+1,341)	28.8(+0.7)
公立高	111(▲11)	4.4(▲0.4)	41,555(▲1,626)	18.1(▲0.7)

中途退学の状況（H26山口県）

（文部科学省：「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」から）

<中途退学者数及び中途退学率の推移>



区分	項目	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
公立	中途退学者数 (人)	292	309	297	224	214	183	152	166	187	152
	中途退学率 (%)	1.0	1.1	1.1	0.8	0.8	0.7	0.6	0.6	0.7	0.6

<理由別中途退学者数> ()内は前年度比

学業不振	9 (△1)
学校生活・学業不適應	31 (△34)
進路変更	49 (△21)
病気が死亡	9 (±0)
経済的理由	4 (+3)
家庭の事情	14 (+5)
問題行動等	17 (+1)
その他の理由	19 (+12)
計	152 (△35)

<全国との比較>

()内は前年度との比較

区分	山口県		全国	
	中途退学者	中途退学率 (%)	中途退学者数	中途退学率 (%)
公立	152(▲35)	0.58(▲0.12)	33,994(▲4,427)	1.44(▲0.18)

報告事項6

平成28年度全国高等学校総合体育大会山口県実行委員会第2回総会の開催について

1 概要

(1) 開催日

平成27年8月27日(木) KKR山口あさくら

(2) 委員

山口県教育委員会教育長、山口県教育庁教育次長、山口県高等学校体育連盟会長、山口県体育協会専務理事、各競技会場地市町担当部局長等、各競技団体理事長、高体連各競技専門部長、関係団体会長等 計51人 ※事務局：山口県教育庁学校安全・体育課

(3) 内容

(ア) 報告事項

①近畿総体の報告

・競技結果 ※別紙参照 ・大会運営の様子

②高校生活動の取組

・中国大会補助員参加 ・1年前PR活動 ・近畿総体の視察(高校生による報告)
・県推進委員会の設置 ・カウントダウンイベントの開催

③会場地実行委員会の設置状況及び競技種目別大会ポスター図案募集

・設置状況：フェンシング、カヌー(岩国市)、空手道(長門市)、なぎなた(下関市)は設置済、バレーボール(宇部市、山口市、防府市)、バドミントン(下松市、光市、周南市)は11月以降に設置予定

・図案募集：各会場市内の中等教育学校(後期課程)、高等学校等に募集

④平成28年度全国高等学校総合体育大会参加章図案

・広島県幹事県 ※参加章：ストラップ付きIDカードケース

⑤競技日程及び会場の変更

・バスケットボール：「広島市東区スポーツセンター」は2日間開催→7月31日(日)の1日開催

(イ) 審議事項

①平成28年度全国高等学校総合体育大会入賞メダル図案

・山口県幹事県：平成28年度全国高等学校総合体育大会入賞メダル意匠選考委員会(7月8日開催)で図案決定

②競技種目別大会実施要項(案)

・記載内容：期日、会場、競技日程、競技方法、参加資格、宿泊等

③山口県医療救護対策要項(案)

・大会参加者及び一般観覧者の医療救護対策に万全な体制を確立

※審議事項①～③については、全国高校総体中央委員会(9月18日開催)へ報告、審議により正式決定の予定

2 今後のスケジュール

H27年	9月	第1回県高校生活動推進委員会
		全国高校総体中央委員会
	10月	カウントダウンイベント(会場：岡山市)
H28年	2月(3月)	山口県実行委員会第3回総会
	4月	競技役員・補助員等編成
	7月～8月	H28中国総体開催

平成27年度全国高等学校総合体育大会(近畿総体)入賞者一覧

順位	個人	団体
1位	フェンシング 男子個人エペ 加納虹輝 (岩国工)	ヨット 男子FJ級 : 聖光 (西田・重本)
		ヨット 男子420級 : 光 (松尾・三浦(匠)、三浦(圭)、飯塚)
2位		フェンシング 男子団体フルール: 岩国工
		卓球 男子団体: 野田学園
3位	フェンシング 女子個人サブル 木村 結 (柳井学園)	バレーボール 女子: 誠英 (Best4)
4位	陸上競技 男子1500m 中村 駆 (西京)	ヨット 男子FJ級 : 光 (尾道・富永・小泉・花田)
	自転車 スクラッチ 渡口勝成 (防府商工)	
	フェンシング 男子個人サブル 弘中大貴 (岩国工)	
5位	柔道 男子81kg級 赤尾陸人 (高水) (Best8)	テニス 女子団体: 野田学園 (Best8)
	柔道 女子78kg超級 石田 知 (高川学園) (Best8)	ハンドボール 女子: 高水 (Best8)
	水泳 男子50m自由形 福重智成 (新南陽)	バドミントン 男子団体: 柳井商工 (Best8)
		卓球 女子ダブルス: 岩国商 (武久・永田) (Best8)
6位	陸上競技 男子3000m障害物 野田一輝 (西京)	ヨット 女子420級 : 光 (中村、森戸、藤井、光森)
7位	ウエイトリフティング 男子56kg級クリーン&ジャーク 中川雅也 (下関工)	
	ウエイトリフティング 男子56kg級トータル 中川雅也 (下関工)	
	弓道 女子個人 金本華奈 (岩国工)	
	水泳 男子200m自由形 岡本拓巨 (野田学園)	
計	7競技 13種目	7競技 11種目
	13競技 24種目	

(参考)

H26	6競技 14種目	9競技 16種目
	13競技 30種目	
H25	5競技 10種目	6競技 10種目
	10競技 20種目	
H24	8競技 22種目	10競技 20種目
	15競技 42種目	